

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成26年5月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 26 年 5 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1 事後調査の概要（平成 26 年 5 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	5月1日～31日	通年連続

(2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	5月8日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

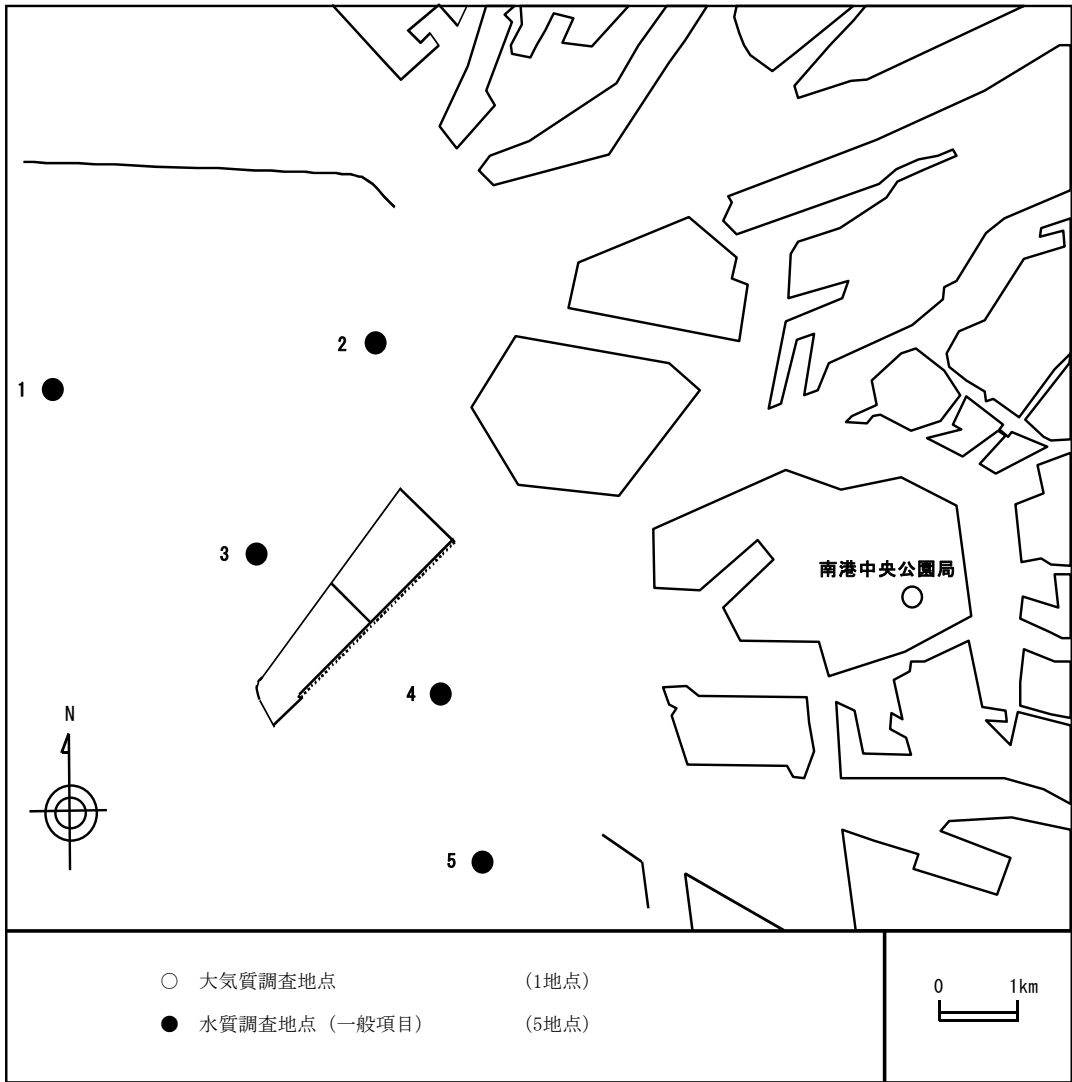
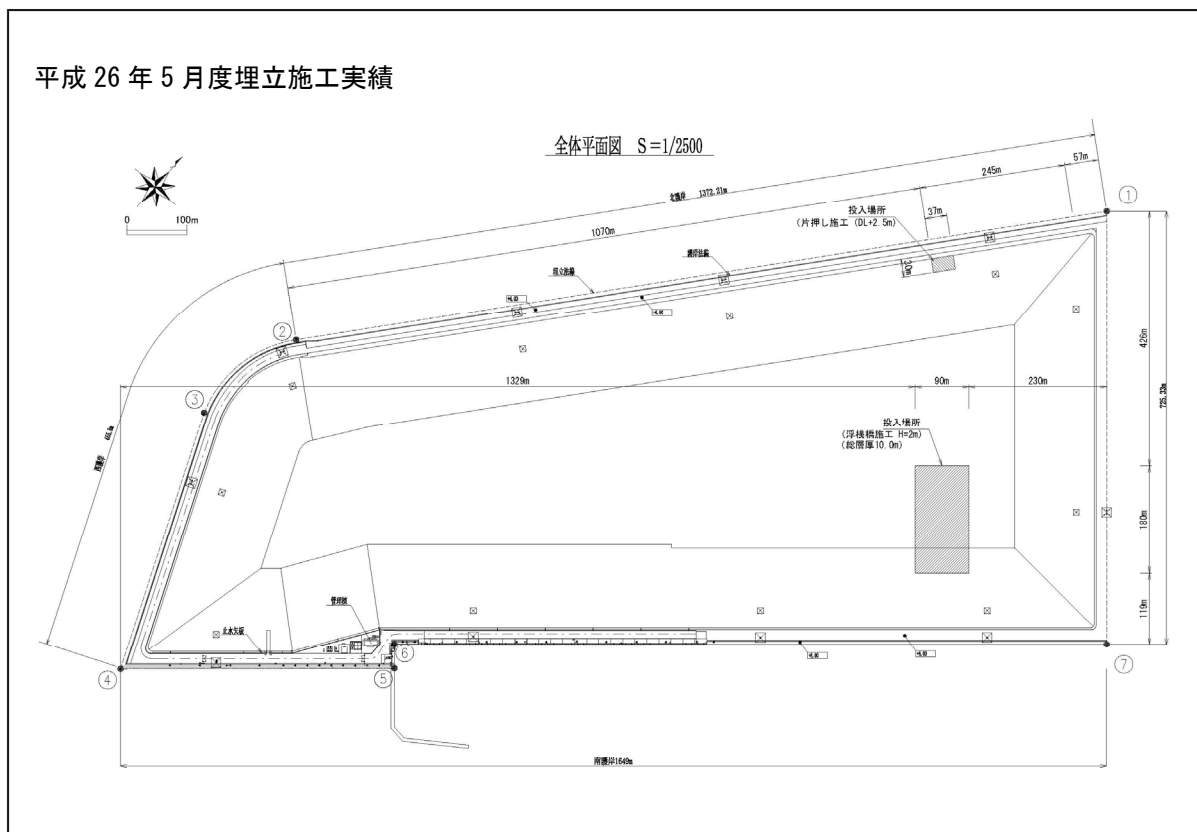


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 26 年 5 月)

2. 工事の実施状況

平成 26 年 5 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
2,738,201	19.6

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 26 年 5 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.007ppm であった。また、日平均値の最高値は0.010ppm、1時間値の最高値は0.026ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.024ppm であった。また、日平均値の最高値は0.052ppm であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.035mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は0.078mg/m³、1時間値の最高値は0.096mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.5、下層で 7.8～8.1 の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値の範囲を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 2 (8.5)、調査地点 3 (8.5)、調査地点 4 (8.5)、調査地点 5 (8.5) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）では上層で 7.7～8.6 の範囲にあり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.1～5.6mg/L、下層で 1.6～2.6mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (4.4mg/L)、調査地点 2 (4.8mg/L)、調査地点 3 (4.1mg/L)、調査地点 4 (4.6mg/L)、調査地点 5 (5.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、調査地点 5 の上層でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であることから本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 10～12mg/L、下層で 3.9～7.3mg/L の範囲にあり、上層では全

での調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 2 において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 2 (3.9mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.35~0.81mg/L、下層で 0.19~0.35mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、4、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.68mg/L)、調査地点 4 (0.81mg/L)、調査地点 5 (0.70mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.029~0.082mg/L、下層で 0.024~0.038mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2、4、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.067mg/L)、調査地点 4 (0.082mg/L)、調査地点 5 (0.072mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 3.9~5.3 度(カリン)、下層で 1.0~2.1 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~6mg/L、下層で 1~3mg/L の範囲であった。

8) クロコシル a

クロコシル a は上層で 7.9~24 μ g/L、下層で 1.4~8.3 μ g/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成26年5月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成26年5月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.006	0.064
	2 (金)	0.003	0.023
	3 (土)	0.002	0.014
	4 (日)	0.000	0.001
	5 (月)	0.000	0.001
	6 (火)	0.000	0.001
	7 (水)	0.002	0.011
	8 (木)	0.001	0.011
	9 (金)	0.003	0.017
	10 (土)	0.000	0.003
別	11 (日)	0.000	0.000
	12 (月)	0.005	0.038
	13 (火)	0.001	0.007
	14 (水)	0.019	0.082
	15 (木)	0.001	0.007
	16 (金)	0.001	0.014
	17 (土)	0.001	0.003
	18 (日)	0.000	0.002
	19 (月)	0.008	0.036
	20 (火)	0.003	0.022
値	21 (水)	0.001	0.004
	22 (木)	0.003	0.014
	23 (金)	0.002	0.008
	24 (土)	0.003	0.026
	25 (日)	0.000	0.002
	26 (月)	0.003	0.011
	27 (火)	0.004	0.026
	28 (水)	0.010	0.058
	29 (木)	0.008	0.051
	30 (金)	0.005	0.027
	31 (土)	0.001	0.004
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値の最高値 (ppm)		0.082	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [平成26年5月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平均 値 (ppm)	1 時間 値 の 最高 値 (ppm)
日 別 値	1 (木)	0.027	0.043
	2 (金)	0.029	0.042
	3 (土)	0.021	0.040
	4 (日)	0.011	0.021
	5 (月)	0.016	0.026
	6 (火)	0.010	0.019
	7 (水)	0.031	0.053
	8 (木)	0.023	0.046
	9 (金)	0.023	0.045
	10 (土)	0.013	0.036
	11 (日)	0.009	0.014
	12 (月)	0.033	0.062
	13 (火)	0.028	0.072
	14 (水)	0.052	0.071
	15 (木)	0.025	0.044
	16 (金)	0.022	0.041
	17 (土)	0.016	0.026
	18 (日)	0.021	0.050
	19 (月)	0.041	0.072
	20 (火)	0.027	0.050
	21 (水)	0.018	0.036
	22 (木)	0.025	0.045
	23 (金)	0.020	0.035
	24 (土)	0.022	0.045
	25 (日)	0.011	0.025
	26 (月)	0.025	0.043
	27 (火)	0.029	0.045
	28 (水)	0.036	0.076
	29 (木)	0.031	0.060
	30 (金)	0.027	0.050
	31 (土)	0.021	0.050
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (ppm)		0.024	
日平均値の最高値 (ppm)		0.052	
1時間値の最高値 (ppm)		0.076	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		2	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）

は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成26年5月分]

測定局		南港中央公園				
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)		
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)			
日	1 (木)	0.033	82.6	0.107		
	2 (金)	0.034	90.5	0.063		
	3 (土)	0.023	93.2	0.054		
	4 (日)	0.011	99.6	0.021		
	5 (月)	0.016	99.7	0.027		
	別	6 (火)	0.010	99.6	0.019	
		7 (水)	0.033	93.8	0.059	
		8 (木)	0.024	95.9	0.056	
		9 (金)	0.025	89.0	0.062	
		10 (土)	0.013	96.6	0.039	
		値	11 (日)	0.009	100.0	0.014
			12 (月)	0.038	86.8	0.092
			13 (火)	0.030	95.9	0.078
			14 (水)	0.070	73.7	0.139
			15 (木)	0.027	95.8	0.051
16 (金)			0.023	93.8	0.046	
17 (土)			0.016	96.6	0.028	
18 (日)			0.021	97.8	0.051	
19 (月)			0.049	84.4	0.087	
20 (火)			0.030	90.9	0.072	
21 (水)	0.020		93.6	0.040		
22 (木)	0.027		90.2	0.057		
23 (金)	0.022		91.3	0.043		
24 (土)	0.025		87.3	0.071		
25 (日)	0.012		97.5	0.027		
26 (月)	0.028	89.3	0.054			
27 (火)	0.033	87.8	0.060			
28 (水)	0.046	79.1	0.111			
29 (木)	0.040	78.9	0.106			
30 (金)	0.032	84.7	0.072			
31 (土)	0.022	96.9	0.050			
有効測定日数 (日)		31				
測定時間 (時間)		738				
月平均値 (ppm)		0.027				
日平均値の最高値 (ppm)		0.070				
1時間値の最高値 (ppm)		0.139				
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		88.7				

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成26年5月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (木)	1.1	2.3	SW	SW
	2 (金)	0.9	2.1	SW	SW, CALM
	3 (土)	1.0	2.4	WSW	CALM
	4 (日)	0.7	2.1	WNW	NNE
	5 (月)	0.7	2.0	SSW	CALM
	6 (火)	1.1	2.8	WSW	WSW
	7 (水)	0.9	1.7	WSW	WNW
	8 (木)	1.4	3.5	WSW	ESE
	9 (金)	0.9	3.0	SW	SW, N, CALM
	10 (土)	1.1	2.4	NNE	N
	11 (日)	1.1	3.0	WSW	WSW
	12 (月)	0.6	1.4	ENE	W
	13 (火)	1.0	2.2	WSW, SW	WSW
	14 (水)	0.7	1.9	ESE	WNW, CALM
	15 (木)	1.1	1.8	NE, WSW	SSW
値	16 (金)	1.3	2.6	WSW, SW	WSW
	17 (土)	1.0	2.3	SW	NNE, WSW
	18 (日)	0.7	1.5	W	W
	19 (月)	0.9	2.4	WSW	WNW, CALM
	20 (火)	1.2	3.6	E	WNW
	21 (水)	1.3	2.5	NE	NNW
	22 (木)	1.0	2.1	WSW	W
	23 (金)	0.6	1.2	NNE	NNW
	24 (土)	1.0	2.4	W	W
	25 (日)	1.1	2.7	WSW	WSW
	26 (月)	0.9	1.5	SSW	SSW
	27 (火)	0.8	1.7	WSW	SW
	28 (水)	0.8	1.7	WSW, W	CALM
	29 (木)	0.8	2.6	WSW	CALM
	30 (金)	0.9	2.1	WSW	WSW, WNW, CALM
	31 (土)	0.9	1.9	WSW	SW
測定時間（時間）		744			
月平均風速（m/s）		0.9			
月最大風速（m/s）		3.6			
月最多風向（16方位）		WSW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成26年5月分]

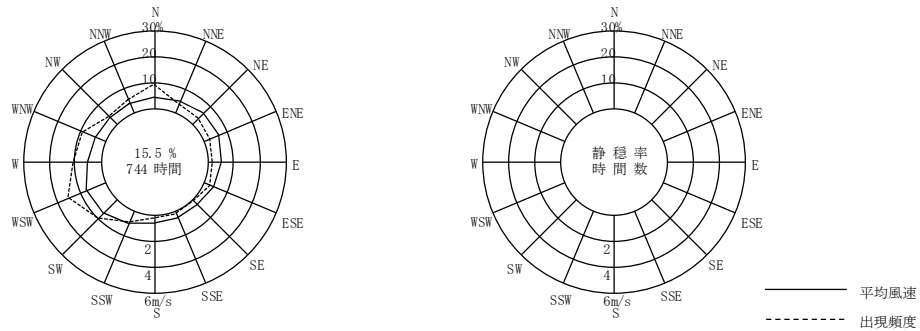
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	28	27	20	14	19	6	8	9	31	71	112	76	70	30	39	69	115	744
頻度 (%)	3.8	3.6	2.7	1.9	2.6	0.8	1.1	1.2	4.2	9.5	15.1	10.2	9.4	4.0	5.2	9.3	15.5	-
平均風速 (m/s)	1.0	1.3	1.3	1.1	0.9	0.6	0.6	0.6	1.0	1.4	1.5	1.0	0.8	0.7	0.8	0.9	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成26年5月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成26年5月分]

調査日：平成26年5月8日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	11:46	12:08	11:24	8:45	8:20	—	—	
透明度 [m]	3.1	2.1	3.2	2.0	2.0	2.0 ~ 3.2	2.5	
水温 [°C]	16.6	17.3	16.1	16.4	16.2	16.1 ~ 17.3	16.5	
	14.1	13.0	14.1	13.7	14.0	13.0 ~ 14.1	13.8	
塩分 [—]	27.80	26.00	29.16	25.98	28.85	25.98 ~ 29.16	27.56	
	32.29	32.08	32.27	32.25	32.29	32.08 ~ 32.29	32.24	
濁度 [度(カリン)]	4.3	5.3	4.7	3.9	4.3	3.9 ~ 5.3	4.5	
	1.0	1.7	1.5	2.1	1.8	1.0 ~ 2.1	1.6	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	3	5	2	4	6	2 ~ 6	4	
	2	2	1	3	3	1 ~ 3	2	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5 ~ 8.5	—	
	8.1	7.8	8.1	8.0	8.0	7.8 ~ 8.1	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.4	4.8	4.1	4.6	5.6	4.1 ~ 5.6	4.7	
	1.6	2.6	2.5	2.5	2.0	1.6 ~ 2.6	2.2	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	12	12	11	11	10	10 ~ 12	11
	飽和度 [%]	7.2	3.9	7.3	5.9	6.1	3.9 ~ 7.3	6.1
全窒素 (T-N) [mg/L]	146	146	133	132	121	121 ~ 146	136	
	86	45	87	69	72	45 ~ 87	72	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.46	0.68	0.35	0.81	0.70	0.35 ~ 0.81	0.60	
	0.19	0.31	0.31	0.34	0.35	0.19 ~ 0.35	0.30	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.036	0.067	0.029	0.082	0.072	0.029 ~ 0.082	0.057	
	0.024	0.035	0.026	0.038	0.031	0.024 ~ 0.038	0.031	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	8.6	17	7.9	16	24	7.9 ~ 24	15	
	1.4	8.3	5.2	4.4	2.2	1.4 ~ 8.3	4.3	

注) 上段：上層 (海面下1m)
下段：下層 (海底面上2m)

特記事項
